



やまだ

議会だより

No.109

2005.7.15発行



6 月
定例会

議員定数を削減	2P
町の考えを聞く	4P
議会アラカルト	12P

船越地区・田の浜地区で 青少年健全育成パレード

6月24日、船越地区と田の浜地区で「青少年健全育成並びに地域安全パレード」が行われました。船越小学校の児童や父母などが参加。地域内をパレードし、青少年の健全育成と非行防止の徹底を呼び掛けました。



4日間の会期で開かれた第2回定例会
議員発議による議員定数の削減を決め
ました

一般会計を5千2 百16万円減額補正

一般会計を五千二百十六万円減額するなど、十七年度の補正予算三件が提案され審議の結果すべて原案のとおり可決されました。今回の一般会計の補正は、土地区画整理事業など補助事業の内示に基づく事業費の増減、職員の退職と人事異動に伴う人件費の調整などが骨子で、主なものは次のとおりです。

- ▽土木費国庫補助金：三千九百六十五万円の減
- ▽土木費負担金（県）：五千万円の減

- ▽観光費：二百九十二万円の増
- ▽土地区画整理費：四千四百万円の減
- ▽コミュニティ対策費：二百十六万円の増

権利の保障と保護へ 個人保護条例を制定

住民の権利保障と保護を定めた「個人情報保護条例」が新たに制定されました。

この条例は、個人のプライバシーを保護するために、本町が保有する個人情報について、開示・訂正及び削除を請求できる町民の権利を保障し、個人情報の取り扱いによって侵害されるおそれのある個人の人格的・財産的な権利利益を保護することなどを目的としています。

- そのほか、可決された条例は次のとおりです。
- ▽町税条例の一部改正
- ▽町立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正

- ▽コミュニティセンター条例の一部改正
- ▽文化財保護条例の一部改正
- ▽漁村緑地広場条例の一部改正
- ▽町民プール条例を廃止する条例
- ▽町営住宅の設置及び管理等に関する条例の一部改正

議員発議の意見書 原案どおり可決

「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」が議員発議され、原案どおり可決。その後政府関係機関へ提出されました。

- ◇◇◇◇◇
- ◇◇◇◇◇
- ◇◇◇◇◇
- ◇◇◇◇◇
- ◇◇◇◇◇
- その他可決された主な議案は次のとおりです。
- ▽市町村合併による、事務組合、協議会などの規約の改正
- ▽柳沢第一団地建替事業（E棟）建設工事請負契約の変更

議員定数減少条例を原案可決

平成19年の一般選挙から2議席減の18人に

定例会最終日には、付託事件であった「山田町議会の議員の定数に関することについて」の委員長報告（昆暉雄委員長・委員七人）が行われました。これを受け議員定数を十八人とする「山田町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」が議員発議され、審議の結果、賛成多数で可決されました。この条例は

平成十九年の一般選挙より適用されます。

情勢変化により 議員定数を検討

本町を取り巻く情勢は年を追うごとに厳しさを増し、厳しい財政運営を強いられています。このことから、議会としても町民の負託に応えるため、議員定数のあり方を検討する必要があるとして、平成十六年十二月定例会において、「議員定数検討特別委員会」を設置し検討を進めてきました。

2減、4減、6減、現状 維持、報酬削減で議論

委員会は十六年十二月から毎月一回の六回開かれました。第二回、第三回の委員会では、他市町村の議員定数などを調査。第四回、第五回では、具体的に本町の定数の方向性についての議論が行われました。

一定数削減の方向では、「一人」「四人」「六人」の意見があり、削減は民意が反映されないとして、「現状維持」「報酬の削減により対応すべき」との意見が出されました。

第五回委員会では、調査・議論は尽くされたものとして意見集約がなされ、次の理由により「二人減の十八人とする」ことが妥当である」との結論に達しました。

【理由】

- ①全国的に世論は削減の流れにあり、民意に応えるべきである。
- ②行財政改革が進められている中で、議会でも「行政との両輪」を果たすため、その姿勢を示す必要がある。
- ③委員会活動を含めた議会機能を損なわない適正な数である。
- ④「民意が反映されにくくなる」など懸念される面があるが、現状の交通網



平成19年の一般選挙から18議席となります

や情報通信網からみて影響はない。

賛成多数で条例可決 19年の選挙より適用

委員会での調査・検討結果について全員協議会で概要が示された後、本定例会の最終日に正式に報告され

ました。その後昆暉雄議員が提出者、議員六人を賛成者とする「山田町議会の議員の定数を定める条例」の一部を改正する条例（定数を「二〇人」から「十八人」に改め、平成十九年の一般選挙から適用）が追加提案され、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

人口類似規模町村の議員定数

町村名	平成12年国勢調査人口	法定議員数	現行議員定数	議員一人当たりの人口	備考
矢巾町	25,268	26	22	1,149人	
豊石町	19,750	22	22	898人	次回選挙から20人
岩手町	17,372	22	20	869人	
一戸町	16,933	22	18	941人	次回選挙から16人
金ヶ崎町	16,383	22	20	819人	
大槌町	17,480	22	22	795人	次回選挙から18人
岩泉町	12,854	22	18	714人	
川井村	3,763	14	14	269人	
山田町	21,214	26	20	1,061人	次回選挙から18人

※減少条例（昭和61年9月17日）2名減……昭和62年改選から施行
新条例（平成12年6月13日）4名減……平成15年改選から施行
減少条例（平成17年6月10日）2名減……平成19年改選から施行



厳しい状況の中、行財政改革を軸に財政運営の健全化が進められています



沼崎詔安議員

財政問題

行政コストを最重要視せよ

身の丈にあった財政運営を進める

質問 歳入の伸び悩みが続く中、義務的経費の増大が財政を硬直化させており、

抜本策を講じないと今後の行政施策の展開に支障を来す。英知を集め窮地からの脱出を図ることが最重要課題であると思うが、町長の考えは。

財政の弾力性を知る数値に経常収支比率があるが、

本町の数値は。また、経常的経費の圧縮策は。

沼崎町長 県内市町村の平成十七年度当初予算規模は、半数以上が前年度を下回っており、厳しい状況にある。この要因は、国の三位一体の改革による地方交付税の減額が大きく影響したものと考えられる。

町の対応策としては、行

ことば…経常収支比率

人件費や、扶助費、公債費などのように容易に縮減できない経常的経費に対し、地方交付税や町税などの経常的一般財源収入がどの程度消費されているかを表わす指標です。この比率が低いほど、経常的経費に充てた残余が大きく、臨時的財政需要（主に普通建設事業）に対して余裕を持つことになり、財政構造が弾力的であることを示します。

町の考えを聞く

政改革大綱に基づく徹底した経費節減と適正な負担で、身の丈にあった財政運営を進めることである。

平成十六年度の経常収支比率は、八五・八割と見込んでいる。
経常的経費の圧縮策としては、これまで人件費をはじめ物件費や扶助費、補助費などを見直ししてきた。今後も引き続き行財政改革を軸に財政運営の健全化に努めていく。

介護保険

主役は「財政」か「利用者」か 財政と利用者は表裏一体のもの

質問 介護保険制度の見直しの基本的考えは、「制度の持続可能性」「明るく活力ある超高齢社会の構築」「社会保障の総合化」の三点。

制度維持の最大の課題は、膨張一途の介護費用に対し、いかに財源を確保し財政を安定させるかであると考えられるが、主役となるのは「財政」か「利用者」か。

沼崎町長 現在、第三期介護保険事業計画の策定の準備を進めているが、国の介護保険制度改正の具体的

方策は不透明な部分もある。二〇一五年がピークといわれる超高齢社会に向かって、現行では制度を維持できない恐れがある。新予防給付の創設など予防を重視し、できるだけ介護給付費を抑えていきたい。

介護給付は必要不可欠であるが、財政を無視する訳にもいかない。介護保険制度に限らず財政と利用者は表裏一体のものであり、どちらが主役ということではないと考えている。



生駒利治議員

道路行政

長林大浦線の見通しは 崩落個所の施工を急ぐ

質問 長林大浦線の局部改良の国庫補助が今年度半減になると聞いた。このことにより施工個所の見直しはあるか。また、完成年度は延長となるのか。

沼崎町長 今年度の事業費は、当初五千万円を要望したが、国の決定は予想外に大幅に減額され二千万円の決定となった。この事業費では、昨年の工事の際に

発生した法面崩落個所が中途半端な施工となるばかりか、危険性を伴う崩落現場をいつまでも放置することになるため、再度県に特別に追加できないか要請したが、全県下で同様にされているので無理であるとのことであった。

このままでは、危険性が数年にわたることになるため、今年度に限り緊急措置として、事業費五千万円のうち、補助費一千万円以外の三千九百万円は起債を充当し、危険個所を整備することにした。

町の考えを聞く



ホタテ養殖業者の生産意欲向上のための施策が望めます（山田の養殖漁家）

水産行政

ホタテ養殖漁家への支援を 養殖共済助成前向きに取り組む

質問 大浦地区のホタテ養殖業者は今年度より漁獲共済に加入して価格の変動などに対処し、経営の安定を図ろうと頑張っている。町としてもホタテ養殖漁業者への助成を強化するこ

とにより、生産意欲と就業意欲向上の一助とすべきと思うが、町長の所見を問う。

沼崎町長 ホタテ養殖にについては、北海道の生産量が急増して価格が暴落した。また、夏場の高水温が成育不良を招き本町の生産量が減少した。そのような中、ホタテ養殖業者の皆さんが奮闘されていることに敬意を表する。

潮干狩のできる干潟に

来年度実現の方向で

水産行政



田村剛一議員

質問

河口付近の干潟が全国的に減少し、しかも、生態系破壊の心配も出ている。本町も同じ。そこで問う。

①外来種の貝により生態系の破壊が心配されると聞くが、真相はどうか。その対策は。

②アサリ漁業権の設定により町民は干潟から追い出された。潮干狩のできる干潟に戻すことを望む。

沼崎町長

①昨年の「アサリまつり」の際にサキグロタマツメタという肉食性巻貝が採取され、その生息が確認された。これは、中国産



町民へのアサリ漁場の開放が望まれます
今年の「やまだアサリまつり」の様子

アサリに混じっていたものの。今年度から国産アサリを購入し全数を選別した。今年の「アサリまつり」の際、参加者に呼びかけ千個のサキグロタマツメタを駆除した。今後

も駆除に努めたい。

②平成十五年度、アサリに漁業権が設定され漁協正組合員以外の採取ができ

なくなつた。町民の要望もあり、漁業権管理委員会に漁場開放を依頼した。開放に向け努力するとの回答を得ており、来年度から部分的に開放が実現するものと期待している。

町の考えを聞く

防災対策

いのち第一の防災対策を 防災訓練のあり方の検討も

質問

町が実施した地震津波対策町民懇談会での住民反応と見えてきた防災上の課題は何か。また、防災教育で大切なことは、命を守ること。どのような防災教育が計画されているか。

沼崎町長

出席者からは防災意識の低下、自主防災組織の必要性が指摘・認識された。今後、防災意識の啓発、自主防災組織の結成促進に努めたい。

松尾教育長

各学校とも安全教育計画を作成し、火

事、地震、津波を想定した避難訓練、登下校指導を行っている。

質問

懇談会への参加者は何人か。現在のシヨ一的な防災訓練を見直し、避難第一の防災訓練にすべきではないか。また、教職員への津波防災に関わる研修を実施したらどうか。

内館防災対策主幹

十地区で二百二十六人。防災訓練のあり方は検討したい。

松尾教育長

そのような方向で考えていきたい。



地震津波対策町民懇談会（田の浜地区）の様子。自主防災組織の結成が望まれます



快適な利用ができるよう公共施設の保守点検も必要なことです(山田体育館)

質問 たまに、小学校の屋内体育館、山田体育館、漁村センター、防災センター



佐藤忠暉議員

施設整備

各施設の保守点検と対策を

年度末などにまとめて実施

やその他のセンターを利活用するが、そのたび各施設の照明器具がいくつか不点灯だったり、汚れや昆虫の死がいや器具の内部にたまっていて、何度か不快な思いをしてきた。

このことは、利活用者にとつてはとても不便であり、管理者に何度か保守点検を申し出ても、一年以上不点灯の状態が続いている所も多い。

そこで、各施設の照明器具の保守点検を定期的に行うとか、管理者から連絡があったら、直ちに行動に移すとかの対策が必要と考えるが、どうか。

沼崎町長 集会施設や小中学校などの照明器具の保守点検については、管理人や利用者から報告があることに対応しているが、学校の体育館や社会体育施設などは、天井が高いため大掛かりな足場を組んで電球を交換しなければならない。

町の考えを聞く

質問 また、その都度の交換となると多額の費用を必要とすることから、年度末など

にまとめて交換しているところであり、汚れなどについても同様である。

日蘭交流

道路の一部を「ザイスト通り」に 史実や歴史的経緯で自然的に発生

質問 今年は、山田町とオランダ王国ザイスト市との友好締結五周年になる。

路の一部を「ザイスト通り」という呼称で親しんでほしいか。

これを記念してオランダ大使をはじめ、ザイスト市長、ザイスト市民一行二十人以上の来町があるやに聞く。また、オランダ週間もあるという。

沼崎町長 道路などの呼称は、史実やそこに至る歴史的な経緯などがあって、その通りを利用する地域住民の理解や親しみの中から、自然発生的に出てくるものだと思う。

そこで、すでにオランダ王国に対しては、プレスケンス号の縁で山田湾の大島を「オランダ島」と呼んで親しんできたところであり、ザイスト市に対しては、道

ザイスト市との友好の証としては、今年の合併五十年記念式典の中で友好関係締結五周年を記念するセレモニーを予定している。



三ヶ尻隆雄議員

コミュニティ対策

上豊間根集会所施設の建設計画は 第8次総合発展計画で検討

質問 コミュニティ活動の推進が期待される今日、上豊間根自治会から活動基地となる集会所施設建設用地の寄付を受けた。その後の建設計画は進んでいるか。

また、町の施設は多数あるが、これら施設の指定管理委託を早急に実施すべきではないか。

沼崎町長 集会所用地として、平成十六年十二月十七日付けで寄付申出書が出され、十二月二十日に所有権移転の手続きを済ませている。集会所施設の建設については、町の財政状況もあり、用地の寄付があっても、すぐに建設できる状況にないことを説明している。今後は、平成十八年度から始まる第八次山田町総合発展計画策定の段階で、検討したいと考えている。

れるものは学校施設などを除く九十六施設である。現在、平成十八年度の制度の完全施行を控え、早急

に施設別に新制度適用か、直営かなどの方向を定め、条例の整備など必要な事務の促進を図りたい。



指定管理者制度の適用が検討されている「鯨と海の科学館」

ことば…指定管理者制度

多様化する住民ニーズに効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用し、住民サービスの向上と経費の節減などを図ることを目的として導入された新しい制度です。

町の考えを聞く

マレット・ゴルフコースの設置を ウォーキング・コースとして整備

施設整備



多くの人に親しまれている船越家族旅行村

質問 浦の浜一帯の、さらなる誘客施設として、マレット・ゴルフコースの設置を検討してはどうか。

沼崎町長 浦の浜地区一帯は、船越家族旅行村で県立の施設であり、町は県から管理委託を受けている。

沼の周りは水辺公園と指定されており、ウォーキング・コースとなっており、多くの人に親しまれている。また、県では施設の修理など維持管理を行っており、引

き続きウォーキング・コースとしての整備をお願いしていきたい。

質問 施設の一部を利用できないか。健康維持にも有効である。県に打診してはどうか。

佐藤産業振興課長 県の施設であり、町で設置できるものではない。機会があればこのようなアイデアがあることは話したい。また、県から指定管理者制度導入の話がきている。話し合いの中で打診はしてみたい。



夏のイベントとして定着している「山田ビーチフェスティバル」多くの家族づれや観光客でにぎわいます



日山忠郎議員

観光行政

観光協会事務局を商工会へ

条件が整えば考えたい

質問 観光客の誘致拡大について、次の点を問う。

① 商工会の今年度の事業計画では、観光客誘致拡大に力を入れ、多彩な事業を展開するようだ。現在、役場に置かれている観光協会の事務局を商工会へ移すほうがより機能を發揮できるのではないか。

② 二〇〇七年度から大量の定年退職が始まるが、旅行も家族や小グループによるものが多くなるといわれる。

町の宣伝だけでなく、三陸海岸全域や東北をまとめて宣伝することが必要と思うがどうか。

佐藤産業振興課長

① 役場に事務局を置くことで職員の協力が得られ、体制的に強化されている。かつて観光協会が商工会から離れた経緯などもあるが、目指すところは同じなので、条件が整った場合は考えたい。

町の考えを聞く

② 陸中海岸のど真ん中の山田を差別化して良いものを売り出すことは大事である。点だけでなく面で

考えなくてはならない。インターネットや観光業者など関係団体と協働してPRに努めていきたい。

教育行政

船越昭治先生の記念講演への参加を

地域の人にも呼び掛けたい

質問 岩手県公立学校退職校長会結成四十周年記念大会が九月十八日、山田町で開催される。本町出身の

県教育委員会教育委員長船越昭治先生の記念講演があるが、教育関係者だけでなく地域の方々にも参加を呼び掛けられないか。

また、当日は百人以上の参加者が宿泊することから、経済効果があると思うので山田町をできるだけ宣伝してほしいと思うがどうか。

松尾教育長 山田町教育委員会も共催者として教育関係者、地域の方々に広く呼び掛けたいと考えている。

船越昭治先生の記念講演は、生涯学習の推進、教育振興運動、「教育の日」とも関連した事業としていきたい。

記念大会には会場や駐車場などできるだけ便宜を図り、参加した方々が山田町に対して良い印象を持てるよう努めたい。



養殖いかだが並び大きな恵みをもたらす山田湾
一方では、カキ・ホタテ殻などの処理対策も大
きな課題です



佐藤照彦議員

水産行政

カキ・ホタテ殻の有効な処理策を

資源利用の検討を進めたい

質問 水産行政について

次の点を問う。

- ①カキ、ホタテ殻の有効な処理策の実現を。
- ②ワカメ、コンブ、カキなどの漁業共済掛金に対する補助を、現行五割から一〇割にできないか。
- ③ノロウイルス対策を早急に確立するよう、国・県に強く要請してもらいたい。漁業者が自主的に行っ

ている検査への支援を。

- ④岩手沖で操業が許可されている二そう曳きの規制を実現するよう国・県に強く要請してもらいたい。また、トロール漁による影響実態調査を行うよう要請してもらいたい。

沼崎町長

①県と共に漁協との話し合いを進め、問題点の解決とカキ殻の資源利用の検

町の考えを聞く

福祉行政

新山田病院へのバス運行を

関係団体に要請する

討を進めたい。

- ②業者個々が負担すべきものであり、現行の率を変

- ③今年度も国・県に要望する。
- ④二そう曳きの底引き網が、海底や生物資源に与える影響の科学的資料の収集が重要と考える。県水産技術センターの研究課題として取り上げるよう、要望する。

質問

新山田病院、住宅改修について次の点を問う。

- ①新山田病院へのバス運行と玄関前乗り入れを実現してもらいたい。
- ②高齢者や障害者のトイレ、風呂などに対する住宅改修への助成を増やすことはできないか。
- ③介護保険を活用した小規模改修工事の実績は。
- ④一般住宅の改修に対する助成を実現することができないか。

沼崎町長

①新山田病院の開院に合せ、バスの乗り入れが可能となるよう県医療局及び岩手県北自動車株式会社に引き続き要請する。

- ②毎年、三件程度の補助である。補助枠を拡大することは、現下の財政状況では難しい。
- ③平成十六年度は、手すりの設置や段差解消など四十七件である。
- ④一般住宅など住宅改修への助成については、困難であると考える。



黒沢一成議員

津波防災

避難路の標識設置を

見直しを行い目立つ場所に

質問 五月に行った地震津波対策町民懇談会に関し、次の点を問う。

- ①住民の集まりはどうか。また、参加者の意識はどうかであったか。
- ②町民からさまざまな意見が出たと思うが、今後の行政に生かせる意見としてどのような事があるか。
- ③地元の地理の分からない観光客など、町外から訪

れた人に対する避難路の標識の設置予定はどうか。なっているか。

沼崎町長

- ①参加者は町内十地区で合計二百二十六人であった。宮城県沖地震津波被害シミュレーションなどを見て改めて地震津波災害に対する意識を高めたのではないかと感じている。
- ②防災意識の低下に関する

意見が多くあった。また、自主防災組織の必要性をほとんどの出席者が認識しているようであった。

- ③避難標識は各漁港の防潮堤付近などに設置されているが、劣化が進んでいる所や現況の変化もあり見直しの検討をしている。海水浴場については目につきやすい場所への設置が必要と考える。

町の考えを聞く



6月28日関口児童館の運営方法の変更にかかわる説明会が行われました



海水浴シーズンを迎え、オランダ島に新しく設置された津波避難標識

福祉行政

保育園民営化、説明会による反応は

説明会の結果による影響はない

質問 五月に町立保育園の民営化について地区住民と保護者に対して説明会を行ったが参加者の反応はどうであったか。また、今後の方向性への影響は。

沼崎町長 説明会での参

加者からの主な意見は、「民営化に対する不安」「入所園児数の減少による廃園への不安」「現状と同様に行政での保育運営を」などがあった。しかし、町としての民営化の方向性は、「山

田町行政改革大綱」及び「就学前施設運営検討委員会」の提言を受けて決定しており、説明会の結果による影響はない。ただし、現在保育園で働いている職員の処遇の問題もあり、町立の四園を一度には民営化できないだろう。できるところから民営化していく。公募、選考の日程や選考委員会のメンバーなど具体的なことは決まっていない。

インタビュー

傍聴席からひとこと



菊地 輝雄さん
(山田・83歳)

— 議会を傍聴されたきっかけは何ですか。

山田町は合併しないで独自の道を歩むことを決断しました。今後、厳しくなる財政問題を抱え、財政再建団体に転落しては大変です。議会の傍聴を通じて町の様子を知ることができればと思います。

— 議会を傍聴されたの感想はいかがですか。

私は難聴ですが、話がよく聞こえるようにヘッドホンが用意されていることには、大変感謝しております。

議会では、議員・執行部ともによく勉強され、町の課題について活発な議論がなされていることに感銘を受けました。

— 今後、議会または町政に望むことは何ですか。

町の課題や将来を決める大切な議会の傍聴者が少ないことには不満です。議会の傍聴者を増やすことも必要ではないでしょうか。

町の繁栄のため、これからは山田町の自然や特性を生かした観光事業に力を入れていく必要があるのではないのでしょうか。また、今人気の義経伝説を活用して、観光の流れを作り、山田町をアピールすることを考えてはどうでしょうか。

今後とも、町の活性化のため議会と行政が一体となり、努力してほしいと思います。

議員出欠表

◎ 病气入院 □ 公務欠席
△ 遅刻早退 ○ 自己都合

月 日	本会議種別	欠 席 者 等 氏 名
6月7日	第2回定例会	△佐々木良一郎
6月9日	〃	△佐々木良一郎
6月10日	〃	○山崎 文悟 ○豊間根 彪

請願(陳情)書の出し方

(表紙)

請願(陳情)書

紹介議員 氏 名 印

(内容)

平成 年 月 日

山田町議会議長(氏 名)様

請願(陳情)者の住所 氏 名 印

〇〇〇〇についての請願(陳情)

(要旨)(理由)

町民の皆さんの意見・要望などを町政に反映させる一つの方法として、請願・陳情があります。請願書は一人以上の紹介議員(無いときは陳情書とする)の署名または記名押印が必要です。請願(陳情)の要旨、理由を記載し、住所、氏名を書き、押印して議長あてに提出してください。

あ
と
が
き



▼今年の稲作は、五月の異常低温で生育不良を起したものの、やっと回復の兆しが見えてきました。今後、好天に恵まれることを期待したいものです▼宮城県沖を震源とする地震・津波が近い将来、高い確率で発生すると予測されています。本町では、町内十地区で「地震津波対策町民懇談会」が開催されました。防災意識が低下しつつある昨今、災害に対する備えと「自主防災組織」の必要性を誰もが感じたのではないのでしょうか▼災害は忘れた頃にやってくるものです。自然災害を未然に防ぐことはできません。日頃、防災に対する意識を持っていけば、少しでも災害を軽減できるものと思います▼安全で安心して生活できる町づくりのため、皆さんと共に一層努力していきたいと考えております。(小林)